

「失われた街」模型復元プロジェクトが 2014年度グッドデザイン賞を受賞

工学研究科准教授 槻橋修

槻橋修・工学研究科准教授が監修する「失われた街」模型復元プロジェクトが2014年度グッドデザイン賞を「都市づくり、地域づくり、コミュニティづくり」の部門で受賞しました。

参考 URL :

<http://www.g-mark.org/award/describe/41874?token=4n7JDZHXWu>

>受賞概要

- ・受賞対象名：復元模型による被災地支援活動 「失われた街」模型復元プロジェクト
- ・事業主体名：「失われた街」模型復元プロジェクト実行委員会

>受賞対象活動の概要

東日本大震災とそれにともなう大津波によって大きな被害を受け、失われてしまった岩手・宮城・福島の3県の街や村を、全国23大学の建築学生のボランティアによって、縮尺1/500のジオラマ模型で復元するプロジェクトです。発泡スチロールで制作した復元模型を各被災地に一定期間展示し、住民とのワークショップを通して白い模型の上に記憶の旗を立て、着彩を施していくことによって、地域に育まれてきた街並みや環境、人々の暮らしの中で紡がれてきた記憶を模型の上に保存・継承していくことを目指した複合的な復興支援プロジェクトです。住民たちに模型の家々の屋根に色を塗ってもらい、長年の記憶を薄いプラスチックの旗にメモしてもらってそれぞれの場所に立てました。青色の旗には建物や店の名前、赤色は津波の到達点や逃げのびた場所、黄色は思い出、紫色は祭りなどの伝統、緑色は桜の木などの環境を表しています。2011年6月から現在までに25市町村41地区の模型を制作しています。

【問い合わせ先】

槻橋 修 / 078-803-6434 / tsuki@port.kobe-u.ac.jp